

かけはし



2014年
Vol.70



八甲田山(青森県)

CONTENTS

- 地域医療とは
- 看護のチカラ
- 松永方面 利用者専用バス運行経路変更
- 高額療養費制度 自己負担額の変更
- 医療連携ニュース

地域で診る

—地域医療支援病院の役割—

昨今の医療技術の進歩は目覚ましく、いろいろな治療が出来るようになってきた分、私たちの医療に対するニーズはますます多様化の一途を辿っています。しかしながら、どの医療機関もその多様化したニーズすべてを満たせるわけではなく、それぞれの得意分野を中心に医療活動を行ってため、各医療機関が連携し、患者さんそれぞれに地域の中で提供できる最適な医療を行うように努めています。これを「地域医療」と言います。

医療フタツツの数や施設の数など医療資源には地域ごとに限界があり、また医療機関がそれぞれの強みを生かしつつ、それぞれの地域で安定した医療提供を継続するためには、医療機関同士の連携のみならず、患者さんなど医療機関をご利用される方の理解と協力が必要不可欠の要素だと言えます。

■地域ぐるみで医療を行うメリット

- 患者さんがその時に最適な医療を十分受けることができる。
- 情報共有が進み、治療の重複を避けるなど、患者さんの負担軽減につながる。
- 医療資源が有効に活用され、各医療機関がそれぞれの得意分野で力を発揮できる。

キーポイント

『かかりつけ医』 を持ちましょう

今かかっている病気やこれまでにかかった病気、何の薬を飲んでいるかなど、普段から「かかりつけ医」に相談していれば、いざという時に適切な判断を下していただけます。

当院は『地域医療支援病院』に指定されています。

地域医療支援病院とは・・・

「かかりつけ医」を支援し、専門外来や入院、救急医療など地域医療の中核を担う体制を備えた病院として各都道府県知事から承認を受けた医療機関のことです。

《指 定 要 件》

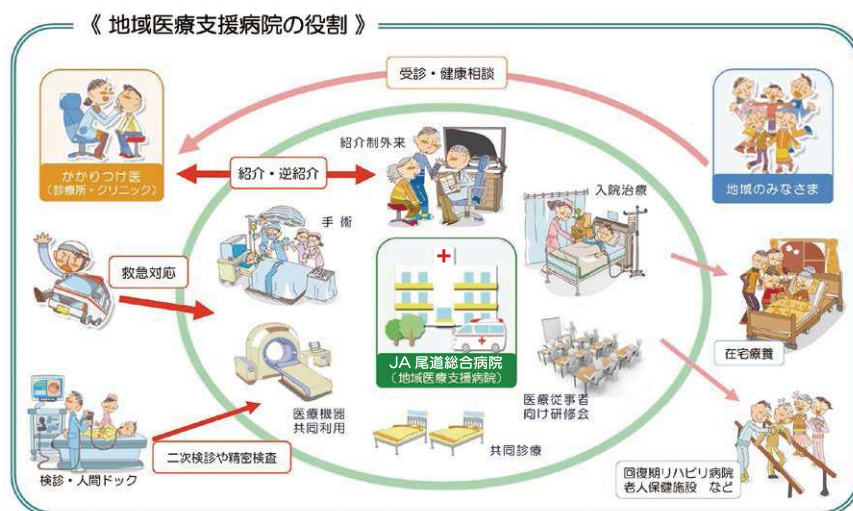
紹介患者の積極的な受入

救急医療の実施

施設の共同利用

医療従事者への研修教育

など



地域医療に関する活動報告

研修会報告 —尾道市医師会 ケアカンファレンス研修会—

11月16日当院にて尾道市の病院を主とした在宅医療を推進する連携を進めるための研修会を尾道市医師会主催にて行いました。公立みつぎ総合病院の山口昇先生の基調講演では、地域包括ケアの歴史や、今後の取組みについての内容などこれからの尾道地区の在宅医療について学びました。

その後、医師、看護師、リハビリスタッフ、薬剤師、民生委員等が1グループ12名程度に分かれて個別の事例において患者さんが安心して退院後の生活を送れるようにそれぞれの専門的立場から話し合いを行いました。

参加者からは、「実際に相手の顔を見て話し合いができたため、今後の連携につながる」、「各々の立場による意見が出たため、活発な意見交換ができ、多方面から考えることができた」、「尾道の在宅医療が進歩していると感じた」など多くの感想が聞かれとても有意義な研修会となりました。



学会発表報告 —第63回 日本農村医学会総会—

医療福祉支援センター 豊田 直之

平成26年11月13日(木)・14日(金)の両日、茨城県つくば市にて開催された第63回 日本農村医学会総会において尾道地区における地域医療連携の状況について発表してきました。

話の軸は、尾道市医師会を中心とする尾道方式、尾道市医師会・長期支援ケアマネジメントプログラム(CC to CC) The OMA method on long-term care management programsです。このプログラムに沿った地域医療連携は、多彩な職種・業種の取組みによって成り立っています。全国的に最も知名度を得ているのは、医師会の医師を中心とする在宅介護への積極的介入及び、病気の早期発見プロジェクトと言えます。

「尾道方式 = 退院前ケアカンファレンスの開催」と思われがちですが、退院前ケアカンファレンスの開催は尾道方式(システム)の要所を押さえながらも一部分でしかなく、一患者に対し、病気の早期発見・早期治療、継続的フォロー、再発予防・再発早期発見、end-of-life care等を“過不足無く一貫して診続ける”云わば医療の本質を地域全体で行うシステムであることを強調して発表してきました。

尾道方式において最も重要視しているのは“情報の共有”であり、本意で一患者に携わるには患者状態の把握は基より、介入する多職種・多業種が互いの機能・能力・役割を把握する事が必須であり、その要を担うのがケアカンファレンスです。特に、急性期病院からの退院時には心身の状態変化が多いと予測し、一堂に会して“退院前ケアカンファレンス”を地道に開催しています。極めてアナログ式ですが“顔の見える情報の共有”“face to faceの情報の共有”として長年取り組んでいます。

また、上記アナログ式を補完するツールとしてICT (Information and Communication Technology) も取り入れていることも発表してきた。これはインターネット上で患者の情報を医療・介護関係者が共有するシステムのことです。

高齢者分野においては、介護支援専門員(連絡協議会)・訪問看護ステーションの実働は“尾道地区の地域医療連携”“尾道方式”を根底から支える源動力であり、我々退院支援担当者として各種システムを駆使し最も連携を密にしています。

最後に、我々は急性期医療を担う病院として、このようなシステム(尾道方式)のrestartライン(再スタート・再起動)に位置すると認識しています。救急・救命を行い、患者さん達に新しい生活を始めてもらう(restart)に当たり、患者情報の集約地であると共に、情報発信の中心で在るべきだと考えています。また市民・住民の医療情報・薬剤情報・健康情報は一機関で完結するものでなく、医療圏域・生活圏域において有用に共有されるべきと考えています。特に高齢化・過疎化の進む農村においては特に感じます。

連載企画

看護のチカラ

皮膚・排泄ケア認定看護師



皮膚・排泄ケア認定看護師

豊田 明美
Akemi Toyota

皮膚・排泄ケア認定看護師には3つの専門分野があり、1つは『創傷(そうしょう)』主にキズや床ずれのケアです。2つ目は『ストーマ』と言われる主に人工肛門や人工膀胱の方のケアです。3つ目は『失禁』ケアです。今回は3つめの『失禁』について、特に高齢者に多いとされる**腹圧性尿失禁**とその対策についてお話しします。

失禁対策の一つですが、最近は薬局で色々な失禁用のパットが販売されており、ご自分の失禁の量に合ったタイプを選べます。また、生理用のナプキンの方が安価ということもあり代用されている方も多いと思いますが、できれば尿専用をお勧めします。理由としては尿失禁専用のパットは尿の水分を素早く吸収する他、消臭効果も優れているものが多いからです。

とても身近な病気、症状ですが人に相談しにくく受診もためらうことも多いのが正直なところではないでしょうか？失禁で悩まずに楽しく日常生活を送るお手伝いのために、当院では、失禁相談も受け付けていますので『医療福祉支援センター』までご相談下さい。

(ふくあつせいにょうしっきん)

腹圧性尿失禁

40歳以上の女性の3人に1人が
経験しているデータがあります

腹圧性(ふくあつせい)と文字通り、お腹に圧が加わることで尿が漏れてしまうことです。最近ではテレビなどで耳にする機会も増えてきているとても身近な症状です。比較的女性に多いです。

《原因》

骨盤底筋(こつぱんていきん-図1参照)と言われる筋肉のゆるみ
⇒加齢、出産や男性は前立腺の手術により引き起こされる
こともあります。

とっても簡単！ 骨盤底筋体操

《姿勢》

どの姿勢でも構いませんが、
リラックスして足を肩幅に広げます。



①横になる



②立つ



③座る

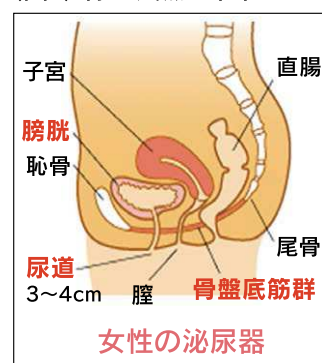
《動作》

排便やおならを我慢するように
肛門、尿道、膣を「ぎゅっ」と締めます。

動作①…5秒間数えてゆっくり力を抜く
(5回1セットを10回がめやす)

動作②…1秒間強く締めて、緩める
(5回1セットを10回がめやす)

(図1) 骨盤底筋の位置



効果的な体操のコツ

- 1) 毎日続けるためにも、こまめに分けて行いましょう。
就寝前後、食後、入浴中など、習慣づけが有効です。
- 2) 息を吸いながら肛門、膣を胃の方へ吸い上げる気持ちで持ちあげるイメージをしてみましょう。

☆体操以外にも、生活改善としての便秘予防や肥満予防も
お腹の圧に関係することから有効です。

<松永方面> 利用者専用バス運行経路変更のご案内

2015年1月5日(月)より、松永方面の利用者専用バスの運行経路を変更させていただきます。
この変更は当院をご利用いただく方の利便性向上を目的としておりますので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。



■ 行き: 松永方面 → JA尾道総合病院

松永方面 ↓ 病院	新設	①松永農協会館前(北行)	7:40	9:05	10:05	12:20	13:20
	新設	②松永スポーツセンター前(北行)	7:41	9:06	10:06	12:21	13:21
		③松永駅南口	7:42	9:07	10:07	12:22	13:22
	新設	④はきもの博物館前(北行)	7:43	9:08	10:08	12:23	13:23
	新設	⑤天理教前(北行)	7:44	9:09	10:09	12:24	13:24
	新設	⑥松永駅前(国道西行)	7:45	9:10	10:10	12:25	13:25
	新設	⑦松永(国道西行)	7:46	9:11	10:11	12:26	13:26
	新設	⑧末広大橋(国道西行)	7:47	9:12	10:12	12:27	13:27
		⑨高諸神社(国道西行)	7:48	9:13	10:13	12:28	13:28
	新設	⑩西藤口(北行)	7:50	9:15	10:15	12:30	13:30
		JA尾道総合病院(着)	8:09	9:34	10:34	12:49	13:49

■ 帰り: JA尾道総合病院 → 松永方面

病院 ↓ 松永方面		JA尾道総合病院(発)	8:30	9:35	10:35	12:50	13:55
	新設	⑩西藤口	8:48	9:53	10:53	13:08	14:13
		⑨高諸神社	8:50	9:55	10:55	13:10	14:15
	新設	⑧末広大橋	8:51	9:56	10:56	13:11	14:16
	新設	⑦松永	8:52	9:57	10:57	13:12	14:17
	新設	⑥松永駅前	8:53	9:58	10:58	13:13	14:18
	新設	⑤天理教前	8:54	9:59	10:59	13:14	14:19
	新設	④はきもの博物館前	8:55	10:00	11:00	13:15	14:20
		③松永駅南口	8:57	10:02	11:02	13:17	14:22
	新設	②松永スポーツセンター前	8:58	10:03	11:03	13:18	14:23
	新設	①松永農協会館前	8:59	10:04	11:04	13:19	14:24

- 土曜・日曜・祝日と休院日を除く毎日運行
- 従来の「ゆめタウン前」「南松永」バス停には停まりません。
- 全体の所要時間は以前と変わらず約30分です。

平成27年1月から、70歳未満の方の高額療養費について 自己負担限度額が変わります!!

そもそも限度額とは・・・??医療機関の窓口でのお支払いが高額な負担となった場合は、あとから申請して頂くことにより自己負担限度額を超えた額が払い戻される「高額療養費制度」があります。

とはいえ、一時的な支払いは大きな負担になります。そこで、70歳未満の方が保険証と一緒に「限度額適用認定証」を医療機関等の窓口提出すると、1ヶ月（1日から月末日まで）のお支払いが自己負担限度額（※1）までとなります。

手 続 方 法

《申請先》 …… 各保険者



(例) 国民健康保険の方 ⇒ 市役所の国保年金給付係
社会保険（協会けんぽ）の方 ⇒ 社会保険事務所（全国健康保険協会）など

申請後保険者より『限度額適用認定証』を受けとります。

《提 示》 …… 各医療機関にて

(当院の場合) 入院されるとき ⇒ 入退院センター（1階 総合受付の隣）へ
外来受診されるとき ⇒ 各科外来受付、又は1階 総合受付へ

注 意 事 項

- ①入院月の翌月5日までに入退院センターへ必ず提示して下さい。
⇒ 翌月5日を過ぎますと、当院での減額又は差額分返金ができません。
- ②自己負担限度額の中には、食事代や個室代は含まれません。
- ③保険医療機関（入院・外来別）、保険薬局等それぞれでの取扱いとなります。
- ④70歳以上の方の限度額は従来通り変更ありません。

（※1）70歳未満の方の自己負担限度額

従 来

対象者	自己負担限度額(月額)	多数該当者
A 上位所得者	150,000円+(医療費-500,000円)×1%	83,400円
B 一般所得者	80,100円+(医療費-267,000円)×1%	44,400円
C 低所得者	35,400円	24,600円

※多数該当者とは、高額療養費として払い戻しを受けた(=自己負担限度額を超えた)月数が直近12ヵ月間で3月以上あったときの、4月目以降該当された方のことです。

平成27年1月より

対象者	自己負担限度額(月額)	多数該当者
ア 標準報酬月額 83万円以上	252,600円+ (医療費-842,000円)×1%	140,100円
イ 標準報酬月額 53万円～79万円	167,400円+ (医療費-558,000円)×1%	93,000円
ウ 標準報酬月額 28万円～50万円	80,100円+ (医療費-267,000円)×1%	44,400円
エ 標準報酬月額 26万円以下	57,600円	44,400円
オ 低所得者:住民税 非課税	35,400円	24,600円

ご不明な点がございましたら、医事課担当者までお問い合わせください。

尾道総合病院 からのご案内

医療連携ニュース

ふれあいサロン

感染対策はなぜ必要？

- 【日 時】 平成27年1月13日（火）
13:00～14:30
- 【場 所】 1階会議室
（医療福祉支援センター奥）
- 【担当者】 感染管理認定看護師
- 【対象者】 がん患者さんとそのご家族

音楽療法

- 【日 時】 平成27年1月27日（火）
13:00～14:30
- 【場 所】 1階会議室
（医療福祉支援センター奥）
- 【対象者】 がん患者さんとそのご家族

隣がん教室

こころとからだ

- 【日 時】 平成27年1月6日（火）
15:00～16:00
- 【場 所】 1階会議室
（医療福祉支援センター奥）
- 【担当者】 臨床心理士／ヨガ講師
- 【対象者】 隣臓がん患者さんとそのご家族

生活・福祉について

- 【日 時】 平成27年1月20日（火）
15:00～16:00
- 【場 所】 1階会議室
（医療福祉支援センター奥）
- 【担当者】 社会福祉士
- 【対象者】 隣臓がん患者さんとそのご家族

多職種連携推進研修会

- 講演
感染制御はみんなの力で！
～地域として何が出来るだろう？～
- 報告
JA尾道総合病院における
入院初期の情報共有の現状
- グループワーク
入院初期の介護医療連携のあり方

- 【日 時】 平成27年1月15日（木）
14:30～16:30
- 【場 所】 附属館5階会議室
- 【担当者】 講演：感染管理認定看護師
報告：医療福祉支援センター
- 【対象者】 医療従事者
介護・福祉関係者

心臓いきいき教室

心臓病の手術について

- 【日 時】 平成27年1月13日（火）
15:00～15:30
- 【場 所】 心臓リハビリ室
- 【担当者】 心臓外科医師
- 【対象者】 心疾患患者さんとそのご家族

プチコンサート

- 【日 時】 平成27年1月14日（水）
15:30～16:00
- 【場 所】 正面玄関ホール

JA尾道総合病院 市民公開講座 市民のためのがん最前線

日時

2015年2月11日(水) 13:00～15:00
(開場 12:00)

場所

しまなみ交流館 (テアトロシェルネ)
尾道市東御所町10-1

テーマ

「前立腺がん」「胃がん」

◆講演1

「お得な尾道市の健診情報!」

尾道市健康推進課:胡子 敦子



◆講演2

「前立腺がんのすべてがわかる!!」

JA尾道総合病院 副院長
泌尿器科主任部長:森山 浩之



◆講演3

「今話題のヘリコバクターピロリ菌と
胃癌診療～最新の内視鏡診療も含めて～」

JA尾道総合病院 消化器内科部長:今川 宏樹



参加費無料
申込不要
定員700名

要申込

午前中会場で健診を実施します!

尾道市国保の特定健診(生活習慣病予防の血液検査など)

お問い合わせ・申込先

肝炎ウイルスクーポン検診・大腸がんクーポン検診

尾道市健康推進課 TEL 0848-24-1962

●対象者:尾道市民で上記の受診券・クーポン券をお持ちの方 ●申込締め切り:1月16日(金) ●定員:70名(定員になり次第締め切ります)



主催:JA尾道総合病院・尾道市

※ご来場の際には、公共交通機関をご利用下さい。

後援:尾道市医師会・因島医師会・尾道市歯科医師会・尾道薬剤師会・尾道市社会福祉協議会・尾道市連合民生委員児童委員協議会・
尾道市公衆衛生推進協議会・尾道市保健推進員連絡協議会・NPO法人広島がんサポート

お問い合わせ:JA尾道総合病院(医療福祉支援センター)TEL 0848-22-8111(代表) 尾道市(健康推進課)TEL 0848-24-1962